

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2022年9月～2023年8月



発行日：2023年11月01日

 **アスカ自動車工業株式会社**

目次

1. 環境経営方針
2. 組織の概要
3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限
4. 環境目標
5. 環境計画
6. 環境経営目標・環境活動計画の取組結果と
その評価、次年度の取組内容
7. 環境への負荷の状況
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.環境経営方針

環境理念

当社は地球環境の保全が社会共通の重要課題であることを認識し、
環境に配慮した企業活動を行いより豊かな社会の発展に貢献する

環境経営目標

カーリースの「新☆車生活」の販売促進を行うことにより、
定期メンテナンスを行う自動車を増やすことで燃費のよい環境にやさしい自動車
の増加を目指します。

環境経営方針

(1) 企業活動によって生じる環境負荷の低減および、
資源の有効活用に努め次の項目を重点に取り組みます。

- ① 二酸化炭素総排出量の削減に取り組みます。
- ② 3Rを念頭に置いて廃棄物を適正に処理します。
発生抑制：Reduce 再利用：Reuse 再資源化：Recycle
- ③ 排水量の削減に取り組みます。
- ④ 化学物質使用量の削減に取り組みます。
- ⑤ 環境に配慮した商品・サービスの提案に努めます。
- ⑥ 環境志向の職場を作ります。

- (2) 全従業員による推進体制を構築し、継続的な改善に取り組みます。
- (3) 環境に関する法規制を遵守し、関連業界の方針に基づいて行動します。
- (4) この環境経営方針は、全従業員に周知、徹底させると共に一般に公開します。

2004年11月30日制定
2018年07月30日改訂
代表取締役 秋葉俊司

2. 組織の概要

[1] 事業所名及び代表者

アスカ自動車工業株式会社

代表取締役 秋葉 俊司

[2] 所在地

本社※ 〒264-0017 千葉県千葉市若葉区加曽利町 8 3 9

事業所 〒264-0017 千葉県千葉市若葉区加曽利町 1 5 4 - 1

TEL 0 4 3 - 2 3 1 - 2 3 8 1

FAX 0 4 3 - 2 3 2 - 8 8 9 0

HP <http://www.lotas-asuka.co.jp>

E-mail: sales@lotas-asuka.co.jp

※本社は登記上の所在地の為対象外

[3] 事業概要

① 自動車整備、点検、車検（関東運輸局指定工場）

② 新車・中古車販売

副代理店： スズキ ダイハツ

取扱ディーラー： トヨタ 日産 ホンダ マツダ スバル

レクサス ベンツ 日野 いすゞ 他

③ 保険代理店： 東京海上日動 三井住友海上 あいおいニッセイ同和

J A 共済 損保ジャパン 東京海上日動あんしん生命

④ 楽のりレンタカー

⑤ 24時間対応レッカーサービス

⑥ 賃貸・不動産管理



[4] 認証・登録の対象・活動

認 証 登 録 番 号 : 0000451

認 証 登 録 年 月 日 : 2005年08月15日

認 証 登 録 事 業 者 名 : アスカ自動車工業株式会社

対 象 事 業 所 : 事務所・工場

所 在 地 : 千葉県千葉市若葉区加曽利町154-1

事 業 内 容 : 自動車修理・整備業、新車・中古車販売業・サービス

自動車保険・生命保険の代理店業務

レッカーサービス業、レンタカー業



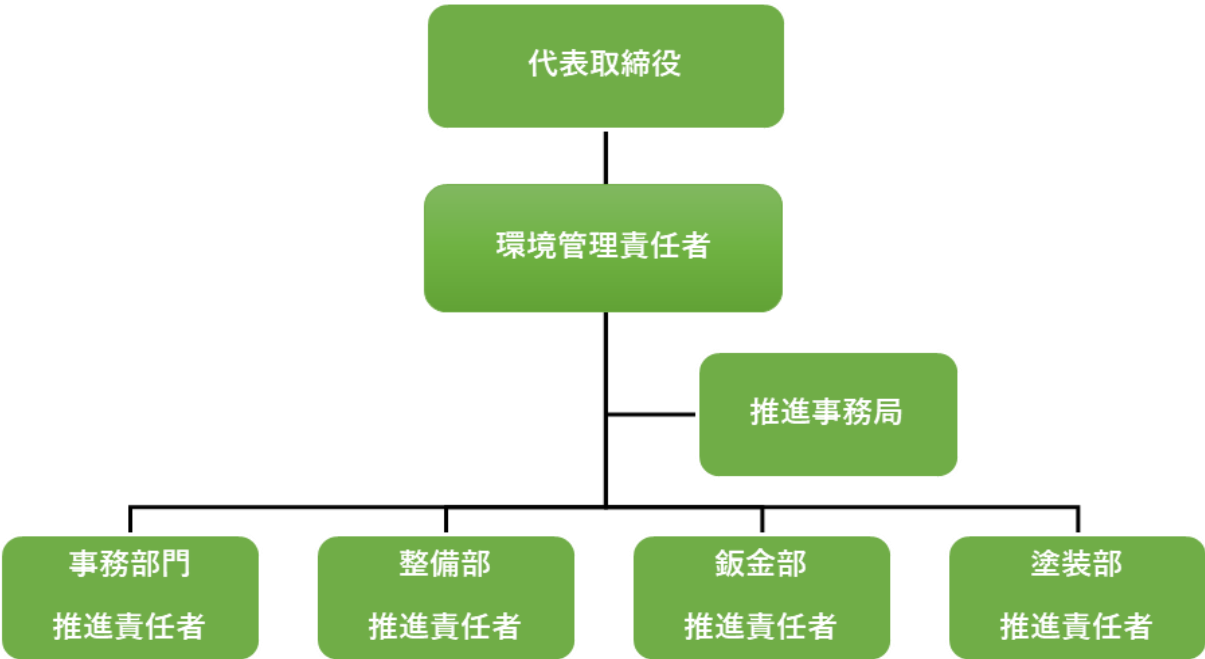
[5] 事業の規模

活 動 規 模	2019年	2019年	2021年	2022年	2023年
社 員 数 (人)	35	35	34	34	32
総 床 面 積 (m ²)	2830	2830	2830	2830	2830
総 敷 地 面 積 (m ²)	5859	5859	5859	5859	5859
売 上 高 (百 万 円)	498	501	415	460	486



3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限

[1]環境経営推進体制



効果的な活動となるように、システムの構築・運用に関する実行責任者として環境管理責任者を置き、これを補佐するために推進事務局を設置しています。

環境活動は4つの事業部門単位で行い、それぞれに推進委員を選任し部門の活動テーマに取り組んでいます。

推進状況は環境管理責任者、推進事務局長、各部門推進責任者で構成する推進会議を3ヵ月毎に開催してフォローすると共に、代表取締役の評価を得て、改善を行うなど継続的な活動に努めています。

各担当者を先導に全社員一丸となり活動しています。

職 名	主	副	主 な 活 動
代 表 取 締 役	秋 葉 俊 司		方針の制定、各担当者任命
環 境 管 理 責 任 者	布 施 弘		推進体制の統括
推 進 事 務 局	井 口 奈 美	亀 田 茉 里	推進体制指導、管理
事 務 部 門 推 進 責 任 者	金 坂 香 織	奥 谷 美 里	電力、水、O A用紙、
整 備 部 推 進 責 任 者	鈴 木 賢	浅 井 周 作	リビルト部品の使用促進
钣 金 部 推 進 責 任 者	樋 口 世 大	関 川 亮 太	钣金ヒーター使用時間管理
塗 装 部 推 進 責 任 者	平 木 健 次	尾 形 政 勝	灯油使用量削減
従 業 員			指示に基づき活動

[2]役割・責任・権限表

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者	環境経営に関する統括責任
	環境方針の策定・見直し、全従業員への周知
	環境管理責任者の任命
	環境:目標・環境活動計画書の承認
	代表者による全体評価と見直しの実地
	環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、運用、維持
	環境目標・環境活動計画書の確認
	環境活動の取組結果を代表者へ報告
	環境活動レポートの確認
	従業員に対する教育訓練の実施
	緊急事態への対応のための訓練の実施
推進事務局	環境負荷の自己チェック表の作成
	環境への取組の自己チェック表の作成
	環境目標、環境活動計画書の作成
	環境活動の実績集計
	環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び遵守評価の実施
	環境活動レポートの作成、公開
推 進 会 議	環境活動報告・課題の是正・提案
推進責任者	自部門の環境経営システムの実施
	自部門の環境方針の周知
	自部門の環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	自部門の活動項目の手順書作成及び運用管理
	自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加

4. 環境経営目標

環境経営方針に沿って、毎年度の環境目標と活動項目を定めて全社で取り組んでいます。
 売上に密接な項目に関しては総売上・工賃売上に対しての削減率を目標としております。
 永続的に活動を進めていくためにも今後も同様の取り組み方をしていく予定です。

取組内容		基準年	目標値				
		2022	2023	2024	2025	2026	2027
削減	二酸化炭素排出量	1158.0	1146.42	1134.84	1123.26	1111.68	1100.10
	(Kg-Co2/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	電力使用量	319.00	315.81	312.62	309.43	306.24	303.05
	(Kwh/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	産業廃棄物(特別管理)	15.00	14.85	14.70	14.55	14.40	14.25
	(L/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	水使用量	5	4.95	4.90	4.85	4.80	4.75
	(m3/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	化学物質(VOC)	39.00	38.61	38.22	37.83	37.44	37.05
	(kg/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	ガソリン使用量	17.00	16.83	16.66	16.49	16.32	16.15
	(L/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	軽油使用量	42.00	41.58	41.16	40.74	40.32	39.90
	(L/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	廃油排出量	48.00	47.52	47.04	46.56	46.08	45.60
	(L/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
促進	ヒーター稼働電力	12	6.42	6.35	6.29	6.22	6.16
	(Kwh/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	塗装ブース稼働電力・灯油	280	277.20	274.40	271.60	268.80	266.00
	(h/百万円)	基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
	リビルト部品	32.00%	32.64%	33.28%	33.92%	34.56%	35.20%
	(小型売上割合/百万円)	基準値	+2.00%	+4.00%	+6.00%	+8.00%	+10.00%

5. 環境経営計画

活 動 項 目		取 組 内 容	実 施 期 間	担 当 部 門
削減	二 酸 化 炭 素 排 出 量	・ 環境教育の推進 ・ 増加・削減要因の分析 ・ 化石燃料の使用削減 ・ 省エネ設備に関する情報収集	通期	全部門
	電 力 使 用 量	・ 適切な作業機器メンテナンスの実施 ・ 機器の効率的な設定（圧縮値、温度等） ・ 待機状態設備機器の停止 ・ 工場及び事務所照明のLED化 ・ 空調温度の適正管理	通期 冬季： 2 3℃夏季： 2 8℃	全部門
	産 業 廃 棄 物 (特 別 管 理)	・ 自動車関連廃油等の分別徹底 ・ 塗装用具洗浄方法の見直、溶剤削減 ・ 廃棄物保管設備の整理 ・ 適正な回収処理	通期	整備部 塗装部 総務部
	水 使 用 量	・ 節水意識の呼びかけ ・ 給水配管設備の保守管理 ・ 節水型洗車機の情報収集 ・ 洗車用蛇口に節水コマ設置	通期	総務部 営業部
	化 学 物 質 (VOC)	・ 保管管理の徹底(場所・整理整頓) ・ 低VOC塗料（水性）の推進 ・ 適切な機器メンテナンスの実施 ・ 作業の効率化とやり直し作業の防止	通期	塗装部 総務部
	ガ ソ リ ン 使 用 量 (代 車 ・ 社 有 車 等)	・ エコドライブの呼びかけ ・ 代車の定期点検整備 ・ 省エネ代車への入替 ・ 自転車の利用	通期	総務部 営業部
	軽 油 使 用 量 (車 輦 輸 送 ロ ー ド サ ー ビ ス)	・ 効率的な走行ルート予測 ・ 車両の定期点検整備 ・ 帰り荷の確保	通期	総務部 営業部
	ヒ ー タ ー 稼 動 電 力	・ 適切な機器メンテナンスの実施 ・ 機器の効率的な設定（温度等） ・ 省エネ型ヒーターの導入 ・ 待機時の電源OFFの徹底	通期	钣金部
	塗 装 プ ー ス 稼 動 時 間	・ 適切な機器メンテナンスの実施 ・ 小部品の一括乾燥 ・ やり直し作業の防止	通期	塗装部
	廃 油 回 収	・ 自動車関連廃油等の分別徹底 ・ 適正な回収処理	通期	整備部
促進	リ サ イ ク ル 部 品	・ お客様への丁寧な商品説明 ・ 資源物の有効活用の説明 ・ 経済性の点からの説明	通期	営業部 整備部

6. 環境経営目標・環境経営計画の取組結果とその評価次年度の取組内容

2023年度(2022/9－2023/8)の主な活動結果は以下のとおりです。

①二酸化炭素排出量：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
1,146.10 kg-CO2/百万円	1,025.08 kg-CO2/百万円	1,015.10 kg-CO2/百万円	1,041.10 kg-CO2/百万円	836.98 kg-CO2/百万円	978.57 kg-CO2/百万円	117% ◎	①環境教育の推進 ②増加・削減要因の分析 ③化石燃料の使用量削減 ④省エネ設備に関する情報収集	○
総量kg-CO2	123,573	133,202	116,291	102,781	475,847	↓		
取組結果の評価								
社内の業務全体量が増加したものの排出量は減少した。新型塗装ブースの燃料が旧型の時の灯油から排出係数の少ないLPGになったことが大きな要因と思われる。								
次年度の取組								
排出割合の多い軽油および灯油使用量管理を重点的に取り組む。								

②電力使用量：削減

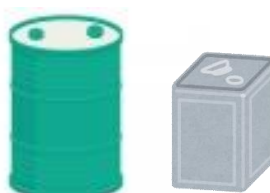
達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
315.30 Kwh/百万円	292.94 Kwh/百万円	290.16 Kwh/百万円	284.45 Kwh/百万円	323.67 Kwh/百万円	298.00 Kwh/百万円	106% ◎	①適切な機器メンテナンス ②機器の効率的な設定 ③待機状態設備機器の停止 ④工場及び事務所照明のLED化	○
総量 Kwh	35,314	38,075	31,773	39,747	144,909	↓		
取組結果の評価								
社内全体の業務量が増えつつあるものの電力使用量は減少できている。屋外の外灯看板の休止などが要因。								
次年度の取組								
①機器の適切な設定とメンテナンスを実施する。 ②社員の健康上の問題や業務効率と省エネのバランスをとった空調機器の使用管理を行う。								

③産業廃棄物（特別管理）：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
15.26 L/百万円	13.69 L/百万円	12.19 L/百万円	13.59 L/百万円	12.62 L/百万円	13.16 L/百万円	116% ◎	①自動車関連廃油等の分別徹底 ②塗装用具洗浄方法の見直し ③廃棄物保管設備の整理 ④適正な回収処理	○
総量 L	1,650	1,600	1,600	1,550	6,400	↓		
取組結果の評価								
回収された油脂類の総量は減少した。整備部門・塗装部門とも分別・管理・処理は適正に行われている。								
次年度の取組								
引き続き適切に管理する。								



④水使用量：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	目標結果
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
4.80 m³/百万円	4.15 m³/百万円	3.62 m³/百万円	4.54 m³/百万円	5.50 m³/百万円	4.43 m³/百万円	108% ◎	①節水意識の呼びかけ ②給水配管設備の保守管理 ③洗車用蛇口に節水コマ設置	△
総量 m³	500	475	507	676	2,158	↓		
取組結果の評価								
業務量の増加傾向により全体的に使用量は増加している。 漏水事故の発生が減少したので通期合計値は減少した。洗車機を新型に入れ替えたので節水効果に期待する。								
次年度の取組								
①給水施設に損傷が発生した時は早急に修理する。 ②洗車作業時の蛇口の開閉をこまめに行い、垂れ流しにしない。								



⑤化学物質（VOC）：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
38.88 kg/百万円	28.07 kg/百万円	26.57 kg/百万円	28.98 kg/百万円	34.18 kg/百万円	29.58 kg/百万円	131% ◎	①塗料の保管管理の徹底 ②低VOC塗料（水性）の推進 ③適切な機器メンテナンス ④やり直し作業の防止	○
総量 kg	464	386	439	577	1,866	↓		
取組結果の評価								
業務量が増加し使用した塗料は増加したものの水性塗料の使用割合が増加し、VOCの排出量が減少したものと考えられる。								
次年度の取組								
①水性塗料の使用推進 ②適切な機器メンテナンスの実施								



⑥ガソリン使用量：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
19.50 L/百万円	14.87 L/百万円	13.14 L/百万円	13.88 L/百万円	11.63 L/百万円	13.36 L/百万円	146% ◎	①エコドライブの呼びかけ ②代車の定期点検整備 ③省エネ代車への入替 ④自転車の利用	○
総量 L	1,793	1,724	1,550	1,428	6,495	↓		
取組結果の評価								
ガソリンの使用総量も減少し、達成率も大きく上昇した。 電気自動車の導入など、省エネ代車への入替は進んでいる。								
次年度の取組								
①代車利用にあたり、省エネ運転を心掛けていただくように啓蒙する。 ②お客様へ貸し出す代車の低燃費車両への入替をさらに進める。								

⑦軽油使用量：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
41.80 L/百万円	40.75 L/百万円	33.19 L/百万円	42.52 L/百万円	39.91 L/百万円	38.90 L/百万円	107% ◎	①効率的な走行ルートを予測 ②車両の定期点検整備 ③帰り荷の確保 ④不要なアイドリングの禁止	○
総量 L	4,913	4,355	4,749	4,901	18,918	↓		
取組結果の評価								
使用総量は削減でき前年に続き目標達成できた。 走行ルートの効率化などの意識も定着している。								
次年度の取組								
①渋滞予測情報などを利用し、効率的なルートを予想する。 ②状況に応じたサイズの車両を選択して業務にあたる。 ③軽油はCO2排出係数が大きいので注視していく。								



⑧ヒーター稼働電力：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
12.37 Kwh/百万円	10.74 Kwh/百万円	11.61 Kwh/百万円	4.78 Kwh/百万円	3.01 Kwh/百万円	7.40 Kwh/百万円	167% ◎	①適切な機器メンテナンス ②機器の効率的な設定 ③省エネ型ヒーターの導入 ④待機時の電源OFFの徹底	○
総量 kwh	179	187	76	56	498	↓		
取組結果の評価								
稼働時間は前年に比べ大きく減少した。								
次年度の取組								
目標達成できているが調査データの大小のブレが大きいのので注視していく。								

⑨塗装ブース稼働時間：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
31.83 h/百万円	26.98 h/百万円	32.14 h/百万円	36.83 h/百万円	26.84 h/百万円	30.48 h/百万円	104% ◎	①適切な機器メンテナンス ②小部品の一括乾燥 ③やり直し作業の防止	○
総量 h	446	467	558	453	1,923	↑		
取組結果の評価								
業務量の増加に伴い稼働時間総量は増加しているものの目標の達成はできた。								
次年度の取組								
①効率的なブース稼働 ②目標達成のモチベーションを維持して活動を継続する。								



⑩廃油回収：削減

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

目標	取 組 結 果					達成率 /状況	取 組 手 段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
47.91 L/百万円	54.05 L/百万円	48.93 L/百万円	50.22 L/百万円	41.34 L/百万円	48.27 L/百万円	101% ◎	①自動車関連廃油等の分別徹底 ②適正な回収・管理 ③適正な処理	○
総量 L	1,650	1,600	1,600	1,550	6,400	↑		
取組結果の評価								
オイル交換作業等における回収総量は増加した。業務量を加味した達成率においては目標達成となった。								
次年度の取組								
引き続き適正に回収・処理を行っていく。								



⑪リサイクル部品売上比率：促進

達成100%以上：◎ 90%達成：○ 80%達成：△ 79%以下：×

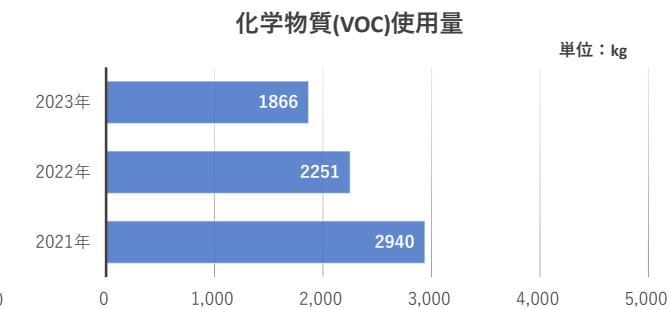
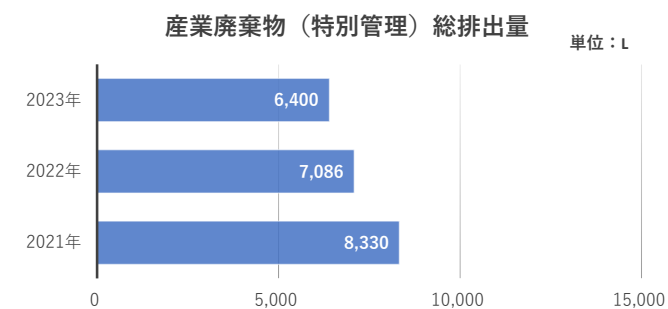
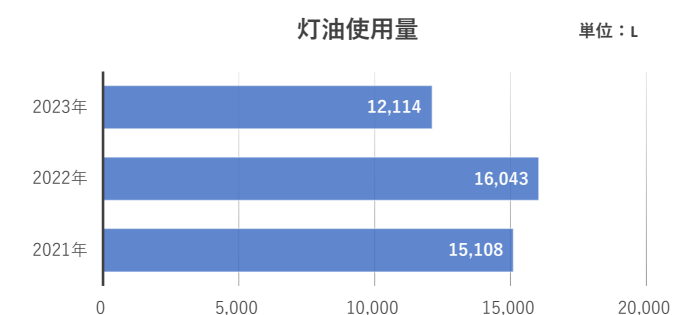
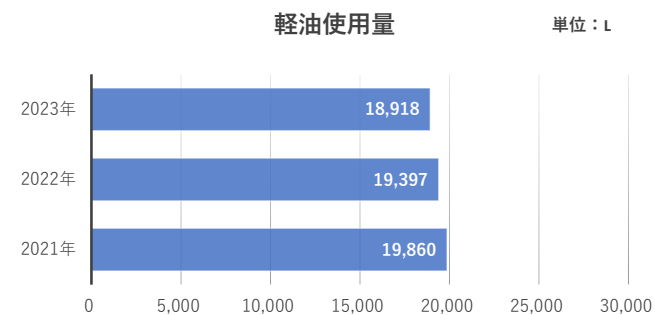
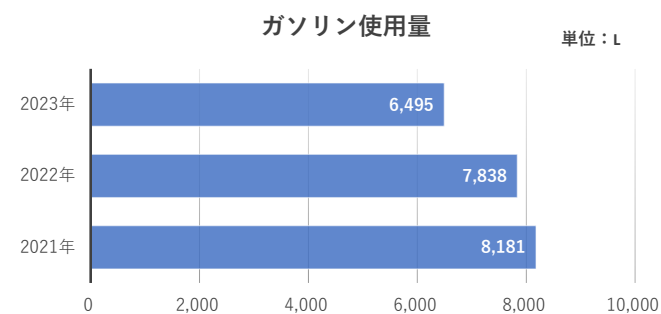
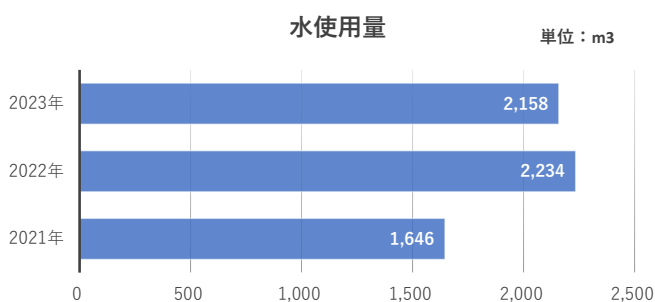
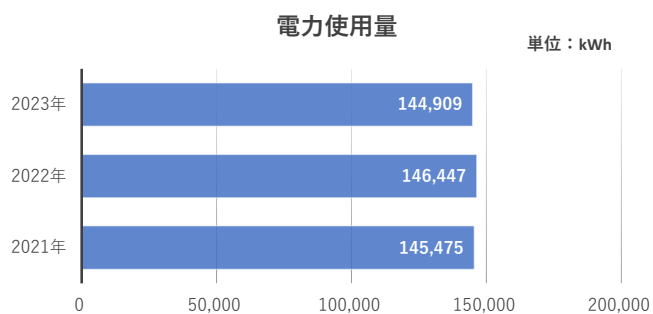
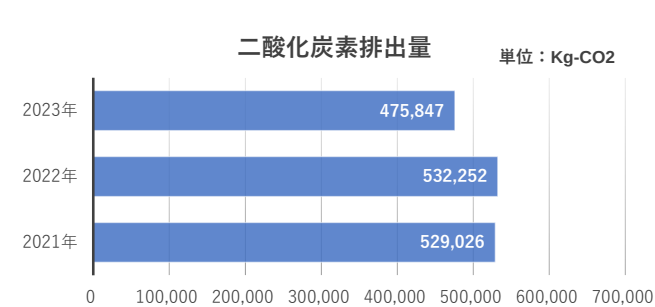
目標	取組結果					達成率 /状況	取組手段	実施 状況
	R04/09 ～R04/11	R04/12 ～R05/02	R05/03 ～R05/05	R05/06 ～R05/08	通期合計			
1.44	1.08	0.95	0.85	0.88	0.94	65%	①お客様へ導入検討を説明。 ②資源物の有効活用を説明 ③経済性の点からの説明	○
売上比率%	%	%	%	%	%	×		
売上総量 (千円)	331	313	271	330	1,245	↓		
取組結果の評価								
リサイクル部品の使用個数が減少した。対象となるリサイクル部品が見つからないなどが要因。								
次年度の取組								
①丁寧な説明により、部品の再利用を積極的に提案を進めていく。 ②リサイクル部品の経済性だけでなく品質・安全性の説明をする。								

※1 活動項目の数値が売上高に連動する項目は環境経営実績表で把握したデータと総売上・部門売上に対する比率で目標・結果を算出しています。

※2 CO2排出係数 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、【0.462kg-Co2/kWh】です。(2017年東京電力ホールディングス)

※3 目標達成評価において79%以下の達成率の場合やEA21システム上、必要と思われる場合は是正処理表を発行します。

7. 環境への負荷の状況



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

[1]適用となる主な関連法規

法 律 等 の 名 称	該 当 す る 活 動	遵 守 状 況
道 路 運 送 車 両 法	法定点検及び整備作業時の検査業務	○
自 動 車 N O x ・ P M 法	規制対象地域内の適合車による運行	○
千 葉 県 デ ィ ー ゼ ル 条 例	対策地域内の排出基準適合車の運行	○
自 動 車 リ サ イ ク ル 法	使用済み自動車引取り業務の適正処理	○
	フロンの適正処理	○
廃 棄 物 処 理 法	廃棄物排出の適正処理	○
千 葉 市 環 境 保 全 条 例	地下水の適正採取等	○
千 葉 県 環 境 保 全 条 例	アイドリングストップの義務等	○
水 質 汚 濁 防 止 法	排水の適正処理	○
	油水分離槽の設置・管理	○
騒 音 ・ 振 動 規 制 法	圧縮機、送風機の適正な設置	○
消 防 法	防災訓練の実施、危険物の適正保管	○
	防火設備の整備・維持管理	○
化学物質排出把握管理促進法	有害物質の排出量・移動量の把握	○
労 働 安 全 衛 生 法	吹付け塗装設備の設置届出	○
	有機溶剤取扱主任者の設置	○
	乾燥設備作業主任者の設置	○
フ ロ ン 排 出 抑 制 法	フロン類の使用・管理の適正化	○
	業務用エアコン等の適正廃棄・点検簿の保存	○
浄 化 槽 法	浄化槽の点検・法廷検査の実施	○
大 気 汚 染 防 止 法	V O C の排出規制（塗装）	○
家 電 リ サ イ ク ル 法	指定家電の適正廃棄	○
グ リ ー ン 購 入 法	環境配慮物品の購入	○

[2]違反、訴訟等の有無

環境関連法規及び条例への違反はありません。

なお、訴訟及び関係機関等からの指摘は過去3年間ありません。

9.代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価	項 目		評 価
	環境経営システムの機能		有効に機能しています
	環境への取組		適切に実施されています
見直し・指示	対象	変更の有無	評 価 コ メ ン ト
	環境経営方針	☐ 有・ ☒ 無	2018年改訂版の浸透を図る
	環境経営目標・計画	☐ 有・ ☒ 無	前年実勢を基に動的に目標・計画を立てる
	実施体制	☐ 有・ ☒ 無	人員の入れ替わり等に適宜対応する

本年度は夏の猛暑、物価高騰、エネルギーコスト・部品コストの高騰など変化の大きい一年となりました。

エコアクション21の取組については、二酸化炭素排出量、電力使用量、水使用量、自動車燃料使用量など活動項目の多くが目標達成となり良好な結果となりました。

一方、リサイクル部品使用向上活動については目標を大きく下回った結果となりました。

今後地道に強化を図ってきたいと思います。

当社は「ちばSDGsパートナー」にもエントリーしておりSDGsの目標及びターゲット達成への取組としてもエコアクション21を活用し推進してまいります。

2023年11月1日

アスカ自動車工業株式会社

代表取締役 秋葉 俊司

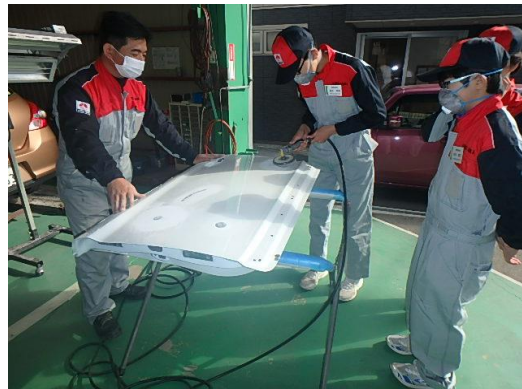


10. 地域活動

千葉市地域公共交通計画におけるグリーンスローモビリティ（略称：グリスロ）の実証調査において
実証調査地域間の車両の運搬を当社にて事業協力いたしました。



毎年地元の中学校の「職場体験学習」を地域貢献として受け入れています。



キッズルームを自由開放し、地域の子育て支援に協力しています。



EV・P H V 車用充電設備を設置し地域の充電インフラ促進に取り組んでいます。

